

1学期	数学X	数学Y	数学Z	
第1講	数と式	三角比	分数関数・無理関数・逆関数	
第2講	二次関数(1)	三角関数(1)	関数の極限(1)	
第3講	二次関数(2)	三角関数(2)	関数の極限(2)	
第4講	二次方程式と二次不等式	三角関数(3)	微分法(1)	
第5講	二次方程式と二次不等式	指数関数・対数関数(1)	微分法(2)	
第6講	二次方程式と二次関数	指数関数・対数関数(2)	微分法(3)	
第7講	恒等式・因数定理	指数関数・対数関数(3)	微分法(4)	
第8講	数列(1)	図形と方程式(1)	積分法(1)	
第9講	数列(2)	図形と方程式(2)	積分法(2)	
第10講	数列(3)	図形と方程式(3)	積分法(3)	
第11講	数列(4)	数列の極限(1)	積分法(4)	
第12講	論理・整数	数列の極限(2)	積分法(5)	
夏期学期	Part1	Part2	Part3	Part4
第1講	場合の数と確率(1)	ベクトル(1)	いろいろな曲線(1)	微分法・積分法(数学Ⅱ)(1)
第2講	場合の数と確率(2)	ベクトル(2)	いろいろな曲線(2)	微分法・積分法(数学Ⅱ)(2)
第3講	場合の数と確率(3)	ベクトル(3)	複素数平面(1)	微分積分総合(1)
第4講	場合の数と確率(4)	ベクトル(4)	複素数平面(2)	微分積分総合(2)
第5講	平面幾何	ベクトル(5)	複素数平面(3)	微分積分総合(3)
2学期	数学X	数学Y	数学Z	
第1講	総合問題ⅠAⅡB(1)	総合問題Ⅲ(1)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(1)	
第2講	総合問題ⅠAⅡB(2)	総合問題Ⅲ(2)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(2)	
第3講	総合問題ⅠAⅡB(3)	総合問題Ⅲ(3)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(3)	
第4講	総合問題ⅠAⅡB(4)	総合問題Ⅲ(4)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(4)	
第5講	総合問題ⅠAⅡB(5)	総合問題Ⅲ(5)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(5)	
第6講	総合問題ⅠAⅡB(6)	総合問題Ⅲ(6)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(6)	
第7講	総合問題ⅠAⅡB(7)	総合問題Ⅲ(7)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(7)	
第8講	総合問題ⅠAⅡB(8)	総合問題Ⅲ(8)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(8)	
第9講	総合問題ⅠAⅡB(9)	総合問題Ⅲ(9)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(9)	
第10講	総合問題ⅠAⅡB(10)	総合問題Ⅲ(10)	マーク型の誘導形式に対するアプローチを中心とした演習(10)	

**【1学期と夏期学期】**

◆一通り全範囲を終了させる。  
 ポッスブルではこの時期に入試の基礎を身につけてもらいます。  
 テキストとドリルとミニテキストなど、ポッスブルで提供する教材だけ学習してください。  
 1題1題、必ずシナリオがあります。それを理解し覚えてください。  
 小問の出来具合はかなり重要です。1学期から対策して行きます。

**【2学期】**

◆やや発展的な総合問題を用いて、考える力を養う。  
 1学期と夏期学期で培った基礎力を用いて総合問題がどれくらい考えられるかを体感してください。  
 当然レベルの高い問題を用意しますから跳ね返されてよいのです。  
 解けなくてもいいので、予習して考える力を身につけましょう。ここで初めて思考力が備わっていくのです。  
 1学期と夏期学期の基礎力がなければ出来ないことなのです。

**【志望校対策学期】**

◆徹底的に受験する大学の傾向やクセに慣れる。  
 私立医学部はそれぞれの大学で、特色があります。  
 受験する中の数校は自信を持って入試に挑めるようになってほしい。  
 そのため、この時期には徹底的に形式と傾向にこだわって対策します。(この3校の選び方などはポッスブルに決める理由の1に記しました。)  
 このようにして私立医学部合格の道を行っていきましょう。  
 ポッスブルの講師と職員と受講生、そして保護者の皆様と一緒に進んでいきましょう！